

# KPI (キーパフォーマンス指標) および2022年度の結果

NTT東日本グループでは、サステナビリティ活動における取り組み達成レベルを推し量ることのできるシンボリックな指標として、マテリアリティごとにKPIを設定し、SDGsとの関連を認識しながら、各種取り組みを積極的に推進してきました。

2022年度は「NTTグループサステナビリティ憲章」が制定されたことから、指標値の追加と一部見直しを行い、KPIを基軸としたPDCAサイクルを実践した結果、下表のとおり、概ね達成することができました。

取り組みの3本柱	マテリアリティ	関連するSDGs	KPI	2022年度目標	2022年度実績	評価
地域社会・経済の活性化への貢献	イノベーションの促進		B2B2X収益額	1,000億円	1,010億円	○
			地域課題解決ソリューション案件数	対前年増	395件(+153件)	○
	安心安全なデジタル社会の構築		安定サービス提供率	99.99%以上	100%	○
			重大事故発生件数	ゼロ	ゼロ	○
			サイバー攻撃に伴うサービス停止件数	ゼロ	ゼロ	○
			倫理規範研修受講者率	100%	93.2%	△
脱炭素・循環型社会の実現	気候変動緩和・適応策の推進		温室効果ガス排出量	52.4万t	47.1万t	○
			自社消費電力のグリーン化率	20%	19.4%	△
			一般車両EV化率	27%	26.5%	△
			社会のCO <sub>2</sub> 排出削減貢献量	10倍以上	18.5倍	○
	循環型社会の形成		環境負荷低減ソリューション案件数	対前年増	19件(+1件)	○
			廃棄物リサイクル率	99%以上	98.8%	△
多様性を尊重する社会の実現	人権と多様性の尊重		人権に関する研修受講率	100%	100%	○
			重要なサプライヤーとの直接対話実施率	100%	100%	○
			女性マネージャー比率	10.9%	11.2%	○
			女性の新任管理者登用率	30%	30.7%	○
			女性の新卒採用比率	30%	39.7%	○
			外部人材の採用数	75人	78人	○
			障がい者雇用率	2.3%以上	2.41%	○
			紙使用量	対前年▲20%	▲20%	○
			社員満足度（エンゲージメント率）	対前年増	52%	△
			リモートワーク実施率	70%	72%	○
			総労働時間数	1,800時間	1,881時間	×
			メンタルヘルス休職者数	対前年▲3%	▲36.6%	○
			男性社員の育児事由休暇取得率	100%	79%	△
			労働事故発生件数	ゼロ	1件	△
	設備工事中の重篤事故発生件数	ゼロ	ゼロ	○		
	離職率	9%以下	2.7%	○		
	公正な社会の実現		倫理規範研修受講者率	100%	93.2%	△
			確認された人権に関する違反件数	ゼロ	3件	×
			反競争的な違反行為・贈収賄違反件数	ゼロ	ゼロ	○
重大な個人データ流出件数			ゼロ	ゼロ	○	